

第 22 回応用生態工学会全国大会@東京

自由集会と懇親会

■ 事務手続き

- ・定款の修正案が可決。
→可決されたものを HP に UP。

■ ML 作成は石山さんをお願いすることに決定（集会中ではないですが）。

- 現在の登録リスト（氏名+所属）を HP にアップしたいですね。
- 今、何名登録されているのでしょうか？

■ 事務手続き等については、次回以降大会の昼休みの時間帯を確保するものとし、自由集会では研究に関する議論を行う場を提案する。

■ 勉強会について

- ・勉強会案（福岡、および札幌）が提案された。
- 2019 年第一回については札幌で開催する。
- 日程、テーマ、場所、講師等については年内には告知しましょう。
- ・遠方でも聞きに来たくなるような人選が重要。
- ・議論をする時間を取った内容が良い。
- ・勉強会のテーマの希望としてはばらつきが大きい。
- ・具体的な勉強会案については、後日 ML で提案。
- ・支部の普及連携委員と連絡を取り、支部と共催で開催するような方向性がよい。
→乾さんが対応。
- ・普及連携委員から運営委員の旅費が出る可能性あり。

希望する勉強会テーマリスト等（かなり広範にわたる）

- ・砂州の物理特性（5 名希望）
 - ・行政による災害対策と事例（7 名希望）
 - ・釧路湿原再生（1 名希望）
 - ・グリーンインフラの勉強（7 名希望）
 - ・環境 DAM の最先端（5 名希望）
 - ・ドローン測定の最先端（5 名希望）
 - ・衛星画像の最先端（6 名希望）
 - ・汽水域の自然再生（1 名希望）
 - ・山地河川の物理特性（5 名希望）
 - ・基礎勉強会水理学（6 名希望）
 - ・用語集を作って欲しい（分野間の隔たりを埋めるため）
 - ・時間をかけた研究発表（細かいところまで突っ込んで聞いていく）
- 毎年テーマを決めて、シリーズとして開催する。